



あけましておめでとうございます。ありが隊と集落支援員から新年のご挨拶です。

# 新年特別号

文 小柳大祐

## ①自己紹介

平成5年1月6日生まれで先日25歳になりました。(イエイ!) 神奈川県で育ち、関東学院六浦中高から玉川大学文学部へ進学しました。趣味はスキーと音楽鑑賞、画像や映像の編集も好きです。アウトドア寄りのインドア派な性格だと思います(^-^)

## ②なぜ協力隊になったか

理由は2つあります。  
①OBの雄さんが居たからです。  
②大学で観光学や文化人類学、宗教学を専攻しており、学んだ事を仕事で活かしたいと考えたからです。特に文化人類学は面白い学問ですよ。皆様にも是非オススメします(^-^)

## ③なぜ天龍村を選んだか

タイで出会った雄さんが天龍村でのツアーに誘ってくれ、ホームステイをする事で村の事を色々と知ることが出来たからです。長野県にもスキーでよく来ていたので、縁を感じました。それに名前がめちゃくちゃカッコいいんですね...(^-^)

## ④2017年を振り返って

2017年はデザインの仕事を本格化させたく、チラシやポスター・特産品のパッケージを作りたいと考えました。特産品パッケージはまだ途中ですが、チラシやポスター、冊子などのデザインは楽しく仕事出来ました。他には、ICUやミドルベリー大学など、多くの学生が来た事は村にとってプラスになったと思います。CM大賞で知事賞を獲れた事も嬉しかったです。個人的な事で、満島神社の掛け太鼓で、2日目に雨だったことが少し残念です...(\*^-^\*)

2017年の主な出来事



## ⑤村と活動に対する想い

自分の活動は日頃表に出ることは少ないので、それでも見てくれ人がいる事が励みになります。特にCM大賞やCATVなどで面白かったなどの声を聞くと嬉しく思います。デザインの仕事は今そこにある要素を整理して見やすくする事だと思うのですが、パンフレットやホームページなどデザインの力が必要だと見受けられる所がまだまだあると感じています。それらをより見やすく、使いやすいようなデザインを作り、提案ていきたいと思います(^-^)



あけましておめでとうございます！柏原亜希です！昨年も様々な方にお世話になりました！今年は村に来て3年目。しっかりとまとめられるように頑張っていきたいと思います。

## 自己紹介

改めまして柏原です！ご存知の方もいらっしゃるとは思いますが、新年一発目の特別号なので自己紹介からしたいと思います！！宜しくお願ひします♪♪

○実家→【因島】・・・広島県尾道市にある島。広島と愛媛を繋ぐしまなみ海道>のたもとにある島で、季節によって異なる多島美と穏やかな潮風にお出迎えしてもらえる島です♪

○性格&年齢→【不器用だけどいろいろ挑戦しちゃう26歳！】・・・初めての事や、慣れてない事にも積極的に取り組もうとするのですが出来あがりはいまいちキレイじゃない・・・?という調子です。左利きだけど器用じゃない子がここに！(\*^\_^\\*) と言うわけで暖かく見守って頂けると嬉しいです(笑)

○天龍に来る前は？→【少しずつ北上中？】・・・広島県(～高校卒業まで)→愛媛県(大学4年間)→大阪府(大学卒業後1年間。商社でOLをしていました)→そして3年前に天龍村へお引っ越し。現在に至ります。

## なぜ協力隊になったの？

人と密に関われる仕事がしたいと思ったからです。前職では電話・パソコン・コピー機などの機械に囲まれていて、周りの人とも必要最低限の会話しか出来なくて、社外のお客様に至っては電話の声のみで顔も分からず、という毎日でした。こんな毎日ってさみしいな、と感じて<人と直接関わる仕事>というジャンルで仕事を探している中で【協力隊】という仕事があると知って興味を持ち、調べて気になって応募しました。

## なぜ天龍村にしたの？

各地の協力隊の募集情報を統括している総務省のサイトで天龍村の記事を見つけた時、天龍村のページに掲載されていた写真は人も風景も暖かそうな、面白そうな雰囲気の写真が多くて、なんだか惹きつけられるものがある村だな、と感じたのが最初のきっかけです。その後面接で村を訪れた時に何人かの村の方とお話しをしたのですが、初対面なのに皆さんとても優しくて、暖かくて、ビックリしたのを覚えています。面接前日の夜に先輩協力隊員の方、役場の方、地域の方など、沢山の方々がいるご飯会を開いてもらい、協力隊についてや天龍村について様々な事を教えて頂きました。先輩隊員さん達に“今はどんな仕事をされているんですか？”と質問すると、どの隊員さんも自分の活動に対してキラキラした笑顔で、自信に溢れた雰囲気で話して下さっている所を見て、【自分の活動にやりがいや誇りを持っていて、こんなにキラキラして話せるなんてすごい！私もこんな人達と一緒に仕事してみたい！】と感じて天龍村に決めました。

## 昨年1年を振り返って&活動や村に対する想い

『協力隊の任期は3年間』と決まっています。私は2015年の7月～ありが隊になったので、2017年は2年目後半～3年目に突入！という節目の年でした。村の歴史や地区名、季節ごとの行事、イベントなどを一通り経験したり学んだりしたので、それを自分の中で落とし込み活かして、村外の方だけでなく村内の方にも天龍村の魅力的な部分をPR出来るようになってきた1年だったと思います。村の事や新たな人を知る度、“ここが魅力だな、ここが好きだな”という想いや場所が増えています。任期は残り半年程度ですが、現在の活動の2本柱である<村花山ゆり＆放置ゆず>の活動に力を入れつつ、村の行事やイベントにも積極的に参加していって交流の輪を増やしていきたいと思います♪

## 現在の活動内容と今後にかける想い

ありが隊としての活動内容は<村花山ゆり>の手入れや普及と<放置ゆず>の活用法や村外へのPRなどの個人の活動に重点を置きつつ、ツアーレポートやイベントの企画運営、物販へ参加しての村のPRなどの合同活動も行っています。2018年も上記の活動を行いながら、3年間の活動のまとめをしていきたいと考えています。

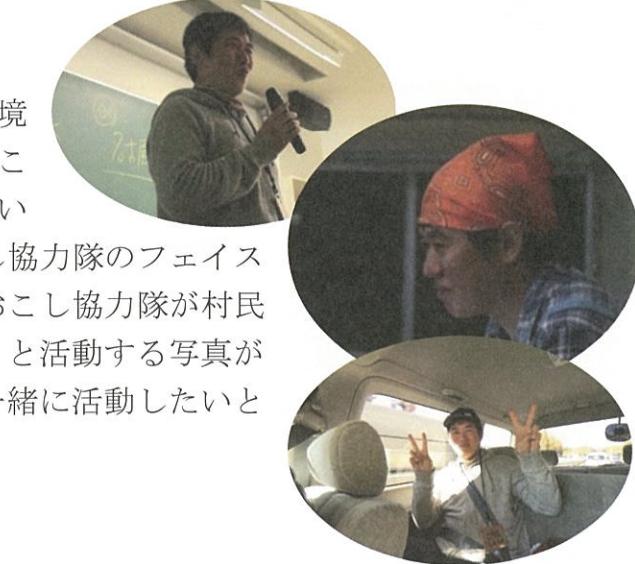


# 上野 真純



## 自己紹介

あけましておめでとうございます。新年最初はこの場をお借りして、私たちの考え方や想い、活動を改めてご報告させていただきます。今年一年どうぞよろしくお願い致します。



## なぜ地域おこし協力隊になったのか

厚木市に住んでいる時、仕事と住んでいる環境を変えたいと思いながらも、なかなか行動を起こせずにいました。そんな折、インターネットでいろいろと検索していた時に天龍村地域おこし協力隊のフェイスブックが目に止りました。そこでは、地域おこし協力隊が村民との繋がりを大切にしながら地域に貢献しようと活動する写真がありました。その写真を見て私もこの場所で一緒に活動したいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

## なぜ天龍村を選んだのか

移住することを考えインターネットで調べてみると「JOIN」というのがあり、そこで地域おこし協力隊のことを知りました。たくさんの市町村が地域おこし協力隊を募集していたのですが、ホームページの写真を見て楽しそうで活動の制限が少ないとこを選びました。

## 「昨年1年振り返って」

仕事と環境が変わり、期待と不安が交錯しながら活動していたら、あっという間に1年が過ぎてしまいました。時間が早く感じる年齢のせいかもしれません…。しかし、昨年の活動から、今年活動する際の課題と仲間を作ることができました。

## 「活動や村に対する想い」

地域おこし協力隊として活動できるのは、最大3年です。期間内に村民の想いを受け止め、自分の想いを伝え、共に望ましい状況になるよう何度も話し合いたいと思っていましたが、村民の方々と集まり話の場を作ることで、とても難しく、共通理解をした上で様々なことに挑戦するとなると、私の力で3年以内に行う事は不可能であると思いました。任期満了後に自立して天龍村で生活できるようにするために、地域おこし協力隊として活動できる残り2年弱は、村にとって良いと思われることをお金に結び付け、稼ぐことを意識し、試行錯誤しながら活動していきたいと考えています。

## 「現在の活動内容と今後にかける想い」

現在の活動は、野菜を育てたり宅配弁当を始めるための準備をしたりしています。一点集中で活動を行うのではなく、複数のことを同時に小さく挑戦したいと考えています。本年もよろしくお願ひします。



# 福本 明花（23）



あけましておめでとうございます。新年最初はこの場をお借りして、私たちの考え方や想い、活動を改めてご報告させていただきます。今年一年どうぞよろしくお願ひ致します。

ふくもと はるか

（23）

## 「一〇一七年を振り返つて……」

### ・オンライン授業に参加

毎週水曜日の夜に全国から集まる十

二名と「地域共創力レッジ」なる授業

を受けました。これは物事を進める方

法や考え方、周りの人の巻き込み方を

学び、同時に自分のプロジェクトも進

めていく授業展開になっています。私

のプロジェクトは「てんとてんプロジェクト」です。それぞれの地域にある

もの・ないものをお互いに交換して豊

かにしよう」というプロジェクトです。私

のプロジェクトは「てんとてんプロジェクト」です。それぞれの地域にある

もの・ないものをお互

# 新年特別号

録

文：柴田 大輔

新年あけましておめでとうございます。みなさん年末年始はどう過ごされましたか？いっぱい食べて寝て笑って過ごしました？

さて、2018年新年特別号は改めて自己紹介をします。名前は柴田大輔です。兵庫県出身！2月で24歳！【柴ちゃん】と呼ばれています。趣味は旅行です。旅行に行くと城・寺社を巡って美味しいモノを食べたり、服が好きで古着屋へ行っています。



地域おこし協力隊には高校生の時から興味があって、おととしの天龍村地域おこし協力隊の活動報告会に参加しました。協力隊の話を聞いて村の方々を見て天龍村に興味を持ちました。4月に天龍村に来て9ヶ月が経ちます。

現在、協力隊の活動として【ていざなす】の栽培を行っています。5月から約半年育てました。今は少しずつ来年に向けて準備をしているところです。1年目の反省を2年目で生かしていきます。2017年は4月から初の一人暮らしでコンビニが無い不便な生活が身近になりました。仲間が退任・就任して、消防・地区活動・たくさんのお祭りなど初めてづくしの1年でした。1つの方言を聞くのも新鮮な時期なので今後も貴重な時間やなと思っています。

協力隊の任期中は前厄・本厄・後厄。信心深いわけではないですが気にしています。しかし今年は戌年！年男！縁起がいいといわれているので自分でいい年にできるようにしたいです。2018年もどうぞよろしくお願いします。



# 新年あけましておめでとうございます！



## 【改めて自己紹介】

昨年の11月から地域おこし協力隊として活動させて頂いている添田緑瑠（そえだつかさ）と申します。神奈川県大和市出身で、平成8年2月22日生まれの21歳です。趣味は登山やひとり旅、天龍村に来てからは長い距離のランニングをしています。来年卒業予定の東海大学4年生で陸上競技の三段跳をやっていました。観光に関する活動を主に行っています。

## 【協力隊・天龍村を選んだワケ】

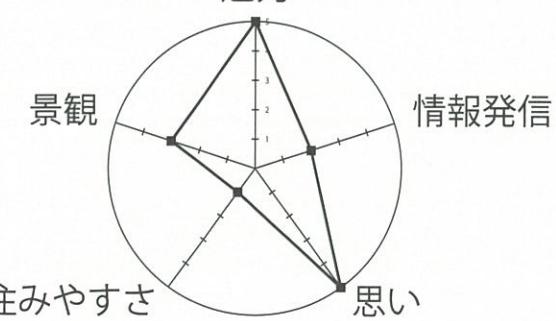
大学3年生の終わり頃、就職以外にも留学、起業、専門学校…など道はいくつでもあるのにも関わらず、周りが当たり前のように就職活動をし始めたことに疑問を感じ、自分も同じようにこのまま就職して良いのか、と考えることが多々ありました。その時に知ったのが地域おこし協力隊で、都市に多数存在する企業の中の1企業に貢献するよりも、村という1つの村に貢献することの方が、魅力的で価値のあることだと思い、知ったその日に協力隊になることを決意しました。

天龍村を選んだ理由は、地域おこし協力隊を募集している市町村を1つ1つ調べていく中で、ふと見つけた天龍村の風景に惹かれたのがきっかけでした。最初はその他にも3つ候補があり、全自治体に電話で話を聞いたのですが、その中でも天龍村は一番熱意が感じられた自治体だったのを今でも覚えています。それだけでなく、CM大賞の撮影に大勢の村民が関わっており、協力的な村の人が多いことからも、天龍村は絶対に活性化できる環境にあると強く感じ、活動するならここしかないという気持ちで選ばせていただきました。

## 【活動内容・今後にかける思い】

昨年11月から2ヶ月間自分が行ってきた活動は、村内を見てまわり、村の人に話を聞き、村への理解を深めることが主な活動でした。主に観光ということもあり、村を知ることが何よりも重要な

### 魅力



だと考えています。2ヶ月の活動で感じたことを元に、個人的な天龍村の現状をグラフにしてみました。

都市にはない景色や個性溢れる村人の魅力はとても素晴らしいと常日頃感じています。景観は綺麗な所が多いですが、運転中に先が見えにくい所や切ったら綺麗だと思う所など改善できる場所も多いと感じています。実際に住んで、大半の人が外で買い物をする点、薬局がない点など高い高齢化率にも関わらず不便な生活を強いられている現状があるということを知りました。パンフレットやホームページなど外部への情報発信もこれから課題です。今年はこれらの問題に少しでも貢献できるように活動していきたいと思います！もっと良い村になってほしいという村の方々の思いはとても強く感じています！力を借りることもあるかと思いますが、村を良くしていくために、今年もよろしくお願いします！

## 集落支援員あいさつ

あけましておめでとうございます。**福田一誠**と申します。

昨年は村民の皆さんに大変お世話になりました。今年取り組みたいことは集落の獣害対策です。シカやイノシシなどの野生動物による農業被害が深刻な地域が多いため、今後狩猟免許(わな猟)を取得し、駆除に貢献しつつその肉の活用法も考えていきたいと思います。

### プロフィール

名前:福田 一誠(ふくだ いっせい)

年齢:25歳

出身:東京都江東区亀戸

出身校:東海大学観光学部

趣味:街歩き、鉄道旅行



あけましておめでとうございます！元ありが隊の河本雅美です。ありが隊のお仕事は村外に向かって天龍村の魅力を発信していく活動がメインでした。集落支援員はどちらかというと村の中・特に担当地区のためにとベクトルを向けての活動に重きがおかれていました。

地区の巡回や道そうじのお手伝い以外の活動をご紹介させていただきます。

1、「お茶の実プロジェクト」ありが隊時代に名古屋の物販で出会った岐阜のお茶屋さんからの紹介で、「耕作放棄茶畠のお茶の実収穫」に取り組みました。収穫したお茶の実は美容液に食用油として新たな期待が高まっています。ぜひ今年は村のみなさんと一緒に取り組んでいきたいと思います。

2、「雑穀ランチ」月1回阿南町「おどもカフェ」(阿南病院裏手)にて天龍村の野菜&雑穀&お米をふんだんに使った雑穀ランチをやらせてもらっています。今後は1月16日(火)、17日(水)、2月6日(火)、7日(水)の予定です。天龍村のみなさまにも雑穀の魅力・いろいろな食べ方を知つてもらえたたらと思います。ぜひぜひお待ちしています！！

3、「2月16日(金) 雜穀味噌 新発売！」大河内で収穫した雑穀(たかきび&もちきび)に麹付けて、味噌のお母さんにお味噌作りのご指導をいただきながら醸しました。現在、村外の販売箇所を検討しています。村内では「秦プロパン」さんでお取り扱いをしていただけることになりました。ぜひぜひご賞味ください。

4、「自力整体」自力整体とは自分の力で骨の歪みを調整し、自分の大切なカラダの声を聴き、介護など必要ない人生を目指す治療法です。毎週金曜日13時半から福祉センターで行っています。飛び入り参加大歓迎です。

## 天龍村集落支援員コーナー

### これまで行ってきた主な活動内容

下山:林道小野河原線と左岸線沿い草刈り、見回りなど

中井侍:茶摘み手伝い(結い)、駅前の落葉掃き、林道の木枝切断、芋フェス手伝いなど

向方:ゴミ拾い、ブルーベリー収穫(共同畠)、おきよめ協議会手伝い、祭り手伝いなど

大河内:集会所障子貼り、集会所草刈り、祭り手伝いなど

梨畠:集会所障子貼り、自力整体教室開催、昼食会開催など

峠山:落葉掃き、見回りなど

その他:茶の実プロジェクト(清水・折立)、秘境駅号車内販売など

これ以外にも全地区で巡回、道路パトロール、要望聞き取り調査、区長・班長との連絡、住民との懇談などの活動もおこなっています。地区のためとなる活動をおこなっており、原則として個人の営利(農業や家の作業など)となる活動は出来ません。



自力整体教室



草刈



祭り手伝い



障子貼り



昼食会



ゴミ拾い



林道枝切断



もちづくり

### 最後に...

今後さらに担当地区を増やすことを行っていきたいと思います。現在も担当地区を募集中です。満島以外の地区より募集しております。

役場地域振興課 TEL0260-32-1023までどうぞ